

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		339	t-CO <sub>2</sub>
①温室効果ガス除去炭素換算	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		339

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	333	t-CO <sub>2</sub>	330	t-CO <sub>2</sub>	338	t-CO <sub>2</sub>	325	t-CO <sub>2</sub>	339	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）			1.0	%	▲ 1.4	%	2.4	%	▲ 1.9	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和5年度はテナントが改装工事中であったが、改装工事を経て従業員食堂稼働・1F食堂街稼働と共用部の空調・ELVの使用頻度も増加し、エネルギー使用は格段に増えてしまった。令和4年度ペースからも増えているが、冬季は使用しなかった冷水の使用を開始したこともエネルギー使用の増大に拍車をかける結果になってしまった。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。  
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。  
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。  
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
冷暖房に関する省エネルギー・省資源の行動実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールビズ実施による冷房温度の調整</li> <li>・外気利用による温度調節</li> <li>・冷暖房時間の短縮</li> </ul>	冷暖房の適切なこまめな温度調整	クールビズの期間に柔軟性を持たし暑さ対策を徹底した。
照明に関する省エネルギー・省資源の行動実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管球の省エネモデル（LED）への交換</li> <li>・常時点灯箇所の削減</li> </ul>	2026年度中実施予定	予算の関係で省エネ機器への更新は殆ど実施できていないので、引き続き、不要照明の消灯を継続して実施する。
・OA機器に関する省エネルギー省資源の行動実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC・OA機器のスリープ機能設定</li> <li>・離席時のディスプレイ電源OFF</li> </ul>		昨年同様、PCおよびコピー機のスリープ機能の常時使用とPCのディスプレイに「離席時電源OFF」の表示を継続実施する。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO<sub>2</sub>

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

資源回収、特に紙類はより厳格に区別し リサイクルを推進するようになった。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

階段使用推奨を各部署へ通達